

山口県感染症発生週報

(第38週:2024年9月16日～9月22日)

1 全数把握感染症

- 【2類感染症】
 - ・結核:3例(下関1、山口1、宇部1)
- 【3類感染症】
 - ・腸管出血性大腸菌感染症:5例(宇部5) 第35週追加1例(宇部)
- 【4類感染症】
 - ・SFTS:1例(防府)
- 【5類感染症】
 - ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症:1例(宇部)
 - ・梅毒:2例(岩国1、柳井1) 第37週追加1例(下関)



カルバペネム耐性エンテロバクター属菌
CDC/ James Archer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・新型コロナウイルス感染症:県全体の報告数は減少しました。
- ・手足口病:県全体で警報レベルが継続しています。下関、岩国、柳井、周南、防府、山口、宇部、長門、萩で警報レベルが継続しています。[警報レベル:下関(15週目)、岩国(13週目)、柳井(15週目)、周南(13週目)、防府(15週目)、山口(15週目)、宇部(14週目)、長門(3週目)、萩(11週目)]

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2013/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	36週	37週	38週	疾患名	36週	37週	38週
インフルエンザ	3	7	15	ヘルパンギーナ	37	50	21
新型コロナウイルス感染症	290	242	194	流行性耳下腺炎	0	1	2
RSウイルス感染症	36	22	7	急性出血性結膜炎	0	0	0
咽頭結膜熱	4	2	1	流行性角結膜炎	2	1	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	83	98	クラミジア肺炎	0	0	0
感染性胃腸炎	115	103	83	細菌性髄膜炎	0	1	0
水痘	6	21	2	マイコプラズマ肺炎	8	7	5
手足口病	373	491	439	無菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0
突発性発しん	18	21	15				

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	5	5	1	4	0	0	0	0	0	15
新型コロナウイルス感染症	16	33	18	25	23	39	30	6	4	194
RSウイルス感染症	0	0	0	5	1	0	1	0	0	7
咽頭結膜熱	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	14	3	19	5	8	20	0	2	98
感染性胃腸炎	11	3	0	21	7	6	17	1	17	83
水痘	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
手足口病	58	76	51	119	45	12	55	13	10	439
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	6	1	0	4	1	1	2	0	0	15
ヘルパンギーナ	10	0	0	2	5	1	3	0	0	21
流行性耳下腺炎	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	4	0	1	0	0	0	0	0	5
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 トピックス

- ・第37週時点で、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)の今年の報告数が13例となり、過去最多であった昨年の報告数(12例)をさらに上回りました。国内でも1999年の統計開始以降で最多となっています。

(県健康増進課ホームページ:<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/47/273557.html>)

4 病原体検出等情報(臨床診断名:検出された病原体)

- ・急性脳炎(4例):パレコウイルス5、アデノウイルス31、コクサッキーウイルスA6(便、鼻汁:第34週採取)、エコーウイルス3(便:第34週採取)、サイトメガロウイルス、ヒトヘルペスウイルス6、アデノウイルス1、パレコウイルス1(便:第33週採取、咽頭ぬぐい液、尿:第34週採取)RSウイルス、アデノウイルス2、サイトメガロウイルス(咽頭ぬぐい液:第35週採取)
- ・咽頭結膜熱(1例):ヒトヘルペスウイルス6(鼻汁:第35週採取)
- ・ヘルパンギーナ(1例):コクサッキーウイルスA5(咽頭ぬぐい液:第34週採取)
- ・手足口病(2例):パレコウイルス1、コクサッキーウイルスA16(咽頭ぬぐい液:第34週採取)コクサッキーウイルスA16(咽頭ぬぐい液:第34週採取)
- ・感染性胃腸炎(2例):アデノウイルス2、パレコウイルス1(腸内容物:第32週採取)、パレコウイルス1(便:第32週採取)